

みんなが主役の“まちづくり”

～ 彩が丘学区 第3次 福祉のまちづくりプラン 完成!! ～

彩が丘学区では、学区社協、町内会連合会、民生委員児童委員協議会等地域の団体が協働し、令和2年度から「第3次福祉のまちづくりプラン」(*以降「プラン」)の策定に取り組まれました。

新型コロナウイルス感染症のこともあり思うように会議を開催できない期間があったりと策定作業は難航しましたが、これまでに出てきた様々な意見をまとめ、ついに完成の日を迎えました。

そこでプラン策定で力を入られたポイントや策定後の取り組みへの抱負など、彩が丘学区社協の福原会長にお聞きしました。



Q 「プラン」策定で、特に力を入られたポイントは何でしょうか。

A 第一義的には、学区内の全ての住民がどうすれば、安心・安全に過ごせる魅力あるまちになるかを考える中で、今回は、これからの学区を背負って行く若い世代にも、この取り組みに関心を持ってもらう視点を取り入れることに努めました。更に、まとめ(冊子)の作成にあたっては、読者が親しみを感じてもらうように、随所に挿絵、写真、図表等を取り入れました。



福原会長

Q 「プラン」策定作業で、良かった点、苦勞されたポイントは何でしょうか。

A 彩が丘小学校の先生方の協力で連合町内会長自らが特別授業を実施し、子どもたちの「これまで彩が丘で楽しかったこと」「こんなことができたらいいな」等の声を聞くことができました。一方で、地理的条件(商業施設・交通機関・医療機関等)に恵まれていないことが、話し合いの過程でマイナスイメージを醸しだす場面もありました。しかし、「まちづくり」には住民の意識の変容が肝要との共通認識で乗り越えることができましたと思います。

Q 「プラン」策定後の抱負を聞かせてください。

A 「まちづくり」は今回で完結するものではなく、今後も時勢に応じた「まちづくり」が求められます。そのためにも、地域への愛着を深めてもらう魅力ある活動を継続させるとともに、それを周知してもらう広報活動を充実させ、「まちづくり」に対する住民の意識の更なる高まりに努めていきたいと思っています。



- * 福祉のまちづくりプランとは、こんなまちにしたい、こんなまちに住みたいといった思いを、分かりやすい文章としてまとめ、実現に向けて取り組んでいくための手引書となるものです。
- * 佐伯区では令和4年度から湯来地区、楽々園学区でも新たに福祉のまちづくりプラン策定への取り組みがはじまっています。

佐伯区社協ホームページ、フェイスブックをご覧ください



佐伯区社会福祉協議会では、ホームページやフェイスブックで地域の行事やボランティアの皆さんの活動の紹介を、また本会主催の講座や研修会の案内等をさせていただいています。ぜひ、ご覧ください。



佐伯区社協
ホームページは
こちらから



佐伯区社協
フェイスブックは
こちらから



やるき・げんき・さえき祭り2023に向けての メッセージを紹介させていただきます

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、慎重に協議を重ねた結果、「やるき・げんき・さえき祭り2022」の開催を止むを得ず中止するとの結論に至りました。

今年度こそはと第1回実行委員会を開催し、準備を進めていただいていた皆様、楽しみにして下さった皆様には誠に申し訳ないことですが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

次年度こそは何としても「やるき・げんき・さえき祭り」を開催したいと思っております。

そこで、次年度の開催に向けてのメッセージを募集しています。今回はその一部をご紹介します。

来年度は
コロナが落ち着いて
開催できますように。



このご時世の中でもなんとか開催しようと頑張ってくださいありがとうございます。また安心して開催できるようになったら開催を楽しみにしております。



これまでの活動発表の場が今年もコロナ禍で中止となってしまいました。残念でいたしかたありません。でも、日々の活動ができないことはない、身体には十分気を付けて頑張ってください。そして、来年のやるき・げんき・さえき祭り2023でお会いしましょう。

息苦しい日々が続いていますが、早く安心して生活できるようになってほしいですね！それまでそれぞれが元気ですごし、また「やるき・げんき・さえき祭り」で会いましょう！マスクの下はいつも笑顔で心は晴れて！

地域の皆様と交流できる貴重な機会なので、いつかまた開催できる日のために良いアイデアを出し合ったり準備したりしたいです。皆様と協力して開催できたらいいと思います。

祭りの実施には、期待感を抱いていましたが、コロナ感染者の増加の中、賢明なご判断と存じます。感染への懸念を切る英断こそ地域の安全・安心の維持継続に繋がります！次回は3年分の思いと力を結集して、楽しく元氣溢れる「祭り」の実施を大きく期待しています。

コロナの災禍で改めて気づかされたこと「人との触れ合い」「人とのつながり」知見と工夫で集える2023へ。



来年はぜひ開催できたらと思います。



集うこと、発信することを大切に新しい祭りの開催を目指しましょう。





まな や さすけ
～思いをカタチにする～ **学び舎「佐助」**
お出かけサポート入門講座（視覚障がい者応援編）

**佐伯区で
活躍する
助っ人大募集！**

視覚障がいについての理解を深め、お出かけをサポートするガイドヘルプについて体験学ぶ講座です。
「何か活動してみたい」という方々、勇気をだして地域デビューしてみませんか？

※「高齢者いきいき活動ポイント」の対象（1ポイント／回）です。

開催日：令和4年11月17日（木）～12月1日（木）【全3回】

お申込みはこちらから
又は佐伯区社会福祉
協議会までTEL・FAXで
申込み下さい



	日 時	内 容	講 師 等
I	11月17日（木） 10:00～12:00	視覚障がい理解と体験	佐伯区視覚障害者の集い 「白い三輪車の会」
II	11月24日（木） 10:00～12:00	手引き体験	広島市自立訓練施設 視覚障害生活訓練等指導者 萬 あおい氏
III	12月1日（木） 10:00～12:00	先輩ボランティアに聞いてみよう まとめ	活動経験者 佐伯区社協職員

■ 会 場：佐伯区役所別館（広島市佐伯区海老園 1-4-5）

■ 定 員：15名程度

■ 対 象：佐伯区に在住、通勤、通学等している地域活動に関心のある人

■ 参加費：無料

ボランティアセンターマスコットキャラクター なまえ募集

なまえを考えてね！



佐伯区ボランティアセンターのマスコットキャラクターのなまえを募集します。ふさわしい名前を考えてください。応募期限は11月30日（水）です。たくさんのご応募をお待ちしています！

ご応募いただいた中から、選考委員会が候補を厳選し、12月から決選投票を行い、決定します。名づけ親となられた方には、賞状と記念品を贈呈する予定です。

応募方法：①佐伯区ボランティアセンター内にある応募用紙にご記入の上、投票ポストに投函してください。②応募フォームに入力して送信してください。

応募は
こちらから



受賞者は、ホームページで発表し、「ささえあい」にも掲載します。

参加者
募 集

ふらっと、**か よ う**
ワークショップ

お申込みはこちらから
又は佐伯区社会福祉
協議会までTEL・FAXで
申込み下さい



好評をいただきました第1弾につづき、今回は「SDGs」をテーマにワークショップを行います。
毎日の暮らしをちょっと豊かにする体験を！ 毎月第2火曜日、ふらっと通ってみませんか。
※各回ごとにお申込みください。

	タイトル	日 時
第1回	まずは健康づくりから ウォーキング体験（終了）	10月11日（火） 13:30～15:00
第2回	SDGsって何？ SDGs体験ゲームをやってみよう	11月 8日（火） 13:30～15:30
第3回	サロンで役立つ 美味しいお茶をいれるコツ	12月13日（火） 13:30～15:00

■ 会 場：佐伯区役所別館（広島市佐伯区海老園 1-4-5）

■ 定 員：各回20名程度

■ 対 象：佐伯区に在住、通勤、通学等している地域活動に関心のある人

■ 参加費：無料



令和4年度

佐伯区社会福祉協議会

賛助会員を募集しています!



佐伯区社会福祉協議会では、「すべての人に居場所や役割があり、多様性を認め合い、支え合いのあるまちをつくろう」をスローガンに、高齢者・障がい者・児童等が安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組んでいます。

本会は、こうした趣旨にご賛同いただき、「賛助会員」としてご支援をくださる方を募集しています。地域の皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

賛助会へのご入会は、本会窓口でのお申し込みか、ゆうちょ銀行口座への振込をお願いしています。振込をご希望の方は、お手数ですが本会までご連絡くださいますようお願いいたします。

賛助会費

- 個人1口／1,000円(年会費)
- 団体1口／5,000円(年会費)

問い合わせ

- 佐伯区社会福祉協議会
(佐伯区役所別館5階)
- 電話082-921-3113



ご協力ありがとうございました。

令和4年4月1日～令和4年7月31日の期間で、次の方々から賛助会員のお申込みをいただきました。

個人(49名／148口)

佐川智恵子 山根ミサ子 勇野 公代
佐伯 和明 佐々木繁盛 大原 武久
石田 弘江 石本瑠里子 中野ちずみ
田原 博則 戸谷 恵一 芦田 喜朗

大形 則義 上土井 譲
平井 清司 先本 民治
日高 義幸 津丸 俊二

沖田 宏之 味村 憲征
金常 信 坪内 信博
廣畑 村夫 匿名(11名)

古池 里司 山本 章友
高野 貴子 鮎川 洋
東富 美香

小山 廣道 佐々木 昇
永田 章 宮本 暁子
原田 毅

雨瀧 弘和 山脇 好得
久保田詳三 松尾 敏子
増田 昭美
(敬称略、順不同)

団体(5団体／5口)

五月が丘地区社会福祉協議会
五日市中央地区社会福祉協議会

五日市学区町内会連合会
石内慈光園

美鈴が丘地区社会福祉協議会



一般寄付

★水真流 海老吟詠会 観音台支部
代表者 高橋 博信(観音台)

香典返しにかえて

★本田 真由美(五日市)

物品寄付

★匿名(五日市町昭和台)・・・入学三点セット

※令和4年4月1日～令和4年7月31日(敬称略、順不同)



問合せ先

■ 佐伯区社会福祉協議会(佐伯区役所別館5階)

■ 電話082-921-3113

今年も、共同募金運動にご協力をお願いします!

昭和22年に始まり、今年で76回目を迎えた「赤い羽根共同募金運動」が、10月から実施されています。広島市佐伯区共同募金委員会では、「自分の町を良くするしくみ」をスローガンに、募金目標額**10,327,000円**の達成に向けて、募金活動を推進しています。

お寄せいただきました募金は、次のような活動に活用させていただきます。

皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

- ふれあいいきいきサロン事業
- 近隣ミニネットワークづくり事業
- 地区ボランティアバンク事業
- ふれあい配食訪問事業



災害義援金のお礼

本会では、全国各地で起きた災害に対する心温まる義援金を、多くの方々から頂戴いたしております。ここに、各義援金の募金実績(8月1日現在)をご報告いたしますとともに、厚くお礼を申し上げます。なお、この義援金は、それぞれの義援金配分委員会を通じて、被災者に配分されます。

◆令和4年3月福島県沖地震災害義援金(福島県共同募金会)

5,000円(令和4年3月22日～令和4年6月30日)

◆令和4年福島県沖を震源とする地震に係る災害義援金(宮城県共同募金会)

5,000円(令和4年3月28日～令和4年6月30日)

()内は、義援金受付期間